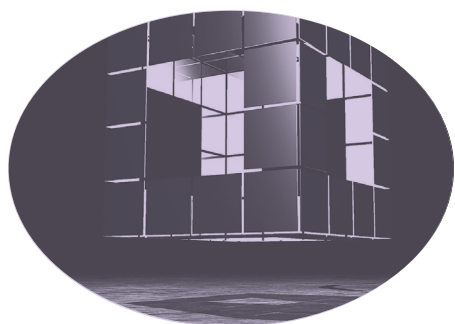


ソイルセメント用分散剤 ジオスパー F1



ソイルセメントの流動性アップ!

ジオスパー F1 は、セメント粒子および土粒子に対し高い分散性を発揮し、ソイルセメントの流動性を高めることができます。

ジオスパー F1 は、ソイルセメント柱列壁などの機械攪拌工法や、埋め戻し、裏込めなどの建設発生土の再利用において、施工性を向上させることができます。

また大量の泥土が発生する工法では、ジオスパー F1 使用により、施工性を維持したまま、発生土量を削減できます。

特長

- 流動性が大きく向上します。
- セメントが均一化し、改良体の品質が向上します。
- 高い分散性により高流動性や、粘性低下は、施工性の向上に寄与します。
- 泥土発生量を大幅に削減し、処理費用をコストダウンできます。

物性

主成分	特殊ポリカルボン酸塩
外観	淡黄色液体
pH	6.5 ~ 8.5
密度 (g/cm ³ , 20°C)	1.18 ~ 1.22

使用量

基準使用量は、下記の通りですが、適用工法、土質条件、施工条件、目標性能などにより異なりますので、最適使用量は試験により決定してください。

ジオスパー F1 の基準使用量

土質条件	対象土 1m ³ 当たり
砂礫、砂	2 ~ 5kg
粘性土	5 ~ 10kg



適用対象

地盤改良	<ul style="list-style-type: none"> ・ソイルセメント柱列壁工法 ・高圧噴射工法 ・機械攪拌工法
建設発生土の再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・埋め戻し、裏込め ・シールド工法（インバート材） ・流動化処理土
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・土そのもの・ソイルセメント流動性付与

試験結果例

使用材料 セメント：高炉セメント B 種 密度 3.04g/cm³
対象土：粘性土（湿潤密度 = 1.560g/cm³、含水比 = 65.4%）

配合

(kg/ 対象土 1m ³)			W/C (%)
セメント	ベントナイト	水	
250	10	625	250

試験結果

図-1. 使用量と粘度の関係

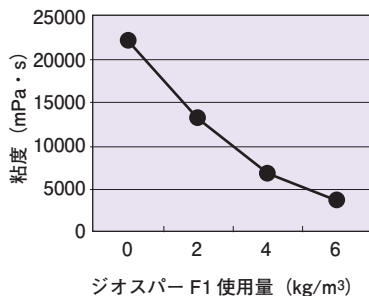


図-2. 使用量と JHS フローの関係

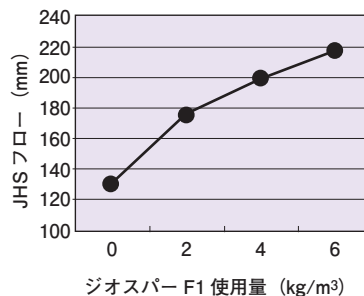
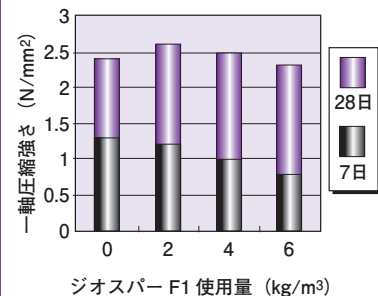


図-3. 一軸圧縮強さ



取扱い上の注意

- 取扱いに当たっては、マスク、保護メガネ、ゴム手袋などの保護具を着用ください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに水または石鹼でよく洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は、清浄な水で洗眼した後、医師の診断を受けてください。
飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受けてください。
- 本品を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に委託してください。
詳細は、当社の安全データシート (SDS) をご覧ください。

荷姿

タンクローリ・1m³ コンテナ・20kg 缶